

沿革

- 平成5年 4月 株式会社 放送衛星システム 設立
- 平成6年 6月 米国ヒューズ社（現ボーイング社）とBSAT-1 衛星製作・打ち上げの契約締結
- 平成9年 4月 川口放送衛星管制センター及び君津放送衛星管制所開設
アリアンロケットによりBSAT-1a 打ち上げ成功
- 7月 ヒューズ社からBSAT-1a を引き取り、翌8.1 より運用開始
- 平成10年 4月 アリアンロケットにより予備機BSAT-1b 打ち上げ成功
- 7月 BSAT-2（BS-4 後発機）の受託放送事業予備免許受領
ヒューズ社からBSAT-1b を引き取り、翌8.1 より運用開始
- 11月 BS-3N の管制業務をNHK、WOWOW から受託、業務開始
- 平成11年 3月 米国オービタル・サイエンス社とBSAT-2 衛星製作・打ち上げの契約締結
- 平成12年 1月 ハイビジョン推進協会からエンジニアリング・ストリーム送出業務受託
- 11月 BS デジタル放送用アップリンクセンター完成
- 12月 BSAT-1b によるBS デジタル放送を受託放送事業者として開始
- 平成13年 3月 アリアンロケットによりBSAT-2a 打ち上げ成功
- 4月 オービタル・サイエンス社からBSAT-2a を引き取り、
翌4.26 よりBSAT-2a によるBS デジタル放送サービス開始
- 7月 アリアンロケットにより予備機BSAT-2b を打ち上げたが、予定軌道に乗らず、全損
- 10月 米国オービタル・サイエンス社とBSAT-2b の代替衛星BSAT-2c の
衛星製作・打ち上げの契約締結
- 平成15年 6月 アリアンロケットにより予備機BSAT-2c 打ち上げ成功
- 7月 オービタル・サイエンス社からBSAT-2c を引き取り、運用開始（7.15）
- 平成16年 3月 エンジニアリング・ストリーム送出業務受託終了
- 6月 BSAT-3a（BSAT-1a 後継機）の受託放送事業予備免許受領
- 平成17年 5月 米国ロッキードマーチン社とBSAT-3a 衛星製作・打ち上げの契約締結
- 平成19年 8月 アリアンロケットによりBSAT-3a（BSAT-1a、1b の後継衛星）打ち上げ成功
- 9月 ロッキードマーチン社からBSAT-3a 引き取り
- 11月 BSAT-3a によるBS アナログ放送サービスを開始（11.1）
BSAT-3a によるBS デジタル放送サービスを開始（11.26）
BSAT-3b、3c（BSAT-2 系衛星の後継衛星）の受託放送事業予備免許交付
- 平成20年 4月 ロッキードマーチン社とBSAT-3b 衛星製作・打ち上げの契約締結
- 11月 地上デジタル放送の衛星利用による難視聴地域対策を行うための
放送衛星局の予備免許受領
- 12月 BSAT-3c衛星制作・打ち上げの契約締結（JSAT株式会社との共同調達）